

第26回生命科学先端研究センター 学術セミナー

日時：平成18年10月23日(月) 午後4時から

場所：医薬研究棟3階 ゼミナール室(1)(2)

講師：日比野 俐 先生
(福山大学薬学部 教授)

演題：「 6π -電子系電子環状反応の活用による生物活性天然物合成」

内容

次に示す近年の研究成果について紹介します。

1. 抗酸化作用および神経細胞保護作用を有する多官能性カルバゾールアルカロイドの合成研究：インドールの2位あるいは3位にアレン中間体を組み込んだ $6p$ -電子系電子環状反応の開発と展開。
2. マイクロ波 (MW) 照射下でのaza 6π -電子系電子環状反応の活用に関する研究：1986年からこのMWの合成化学への利用が始まったと言われております。この反応は、反応速度の加速、収率の向上、溶媒中あるいは無溶媒中でも進行、反応系内を均一に加熱することから再現性が高いという点が特徴として挙げられています。Diels-Alder反応や Claisen転位などでの活用は知られていましたが、電子環状反応では全く報告が無かったことから、MW照射下におけるaza 6π -電子系電子環状の活用に関する展開を試みました。

※ 本セミナーは、大学院講義「分子創薬学特論」の単位認定の対象となります。該当する大学院生の方は受講して下さい。

問い合わせ先：根本英雄 (内線7530、医学薬学研究部教授、分子・構造解析分野長)